

日本学術振興会 委託事業  
ひらめき☆ときめきサイエンス 2017  
「あなたもサイエンス・エドゥケーター」  
( 白百合女子大学 )



調布市教育委員会のご後援をいただき実施した「あなたもサイエンス・エドゥケーター」  
実施当日の活動の様子をお伝えします。

実施日時：2017年12月2日（土）9:15 - 15:50

実施代表：大貫 麻美（白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科）

実施分担：宮下 孝広（同上），石沢 順子（同上），川口 潤子（同上），目良 秋子（同上）

実施協力：土井 美香子・寺井 千重子（NPO 法人ガリレオ工房），初等教育学科2年生有志，研究室事務助手

9:15 集合・受付（白百合女子大学の正門・東門～3号館）

大学生が門でお出迎え。開講式を行う3号館3116教室へのご案内。



9:30 開講式（白百合女子大学3号館3116教室）

受付で資料を受け取り、指定の班へ。開講式では、人間総合学部の学部長挨拶につづいて、実施代表者から科研費の意義や研究成果、本日の活動スケジュールの説明、今日一緒に活動をする「班の先生」（大学生）の紹介などがありました。



10:00 理科読プログラムの体験（3号館3007教室，3005教室）

1～4班は3007教室で「空気存在」、5～8班は3005教室で「生き物と水」について、直接体験と読書とを結び付けた理科読プログラムを体験。ここでは「班の先生」が参加者の学びを支える理科教育者（サイエンス・エドゥケーター）役でした。



10:55 サイエンス・エドゥケーター（理科教育者）になろう / リハーサル

体験したプログラムのエドゥケーター役なら、どう声かけをするとよいでしょう。教材をどう提示するとよいでしょう。班の仲間や「班の先生」と一緒に考え、悩み、リハーサルをしていく過程で、科学教育研究の大切さや面白さを体験することができました。



12:30 みんなで昼食 / 大学を知ろう（学内見学・初等教育学科研究室訪問）

3116 教室で全員集合。班ごとのテーブルに大学の教職員や保護者も参加して昼食をとりながら懇談。紅葉の中、クリスマスの飾りつけがされたヒマラヤスギやチャペルを見学。研究室では教具や書籍を見たり、事務助手の話の聞いたりしました。



13:30 活動再開。サイエンス・エドゥケーター役とステューデント役の両方を体験しました。

エドゥケーター役のときには緊張するけれども仲間や「班の先生」と一緒だから大丈夫。考えた工夫を活かして、ステューデント役の参加者が、身近な自然の中に潜む不思議に出あえるよう、その学びを支援していきました。

- 1・2 班 空気の存在① 空気の存在を実感できるように、新聞紙ドームなどを活用します。
- 3・4 班 空気の存在② 音と空気の振動との関係を自分の声やオルゴールを使いながら学んでいきます。
- 5・6 班 生き物と水① 栄養たっぷりの水溶液を含むミカン。構造をじっくり観察することで柑橘類の理解が深まります。
- 7・8 班 生き物と水② 生物の中にある水溶性の物質、それらが水溶液の性質とどう関わるか調べていきます。



15:30 修了式(3116 教室) 活動を終えた参加者全員に、サイエンス・エドゥケーターの未来博士号の授与と、事後の学びを深める書籍のブックリストの配布がされました。



わたしたちは、サイエンス・エドゥケーターです！